

「セビカム病院医療機材整備計画」

供与額： 9,889,692円

贈与契約締結日： 2013年11月22日

在エクアドル日本国大使館において、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「セビカム病院医療機材整備計画」のための、当館とセビカムによる贈与契約署名式が行なわれました。

1983年にセビカム（NGO）によって設立されたセビカム病院は、チンボラソ県ペニペ市中心部に所在し、主に貧困層患者に対し、低額で各種医療サービス（一般外来、産婦人医療等）を提供している。同病院は、ペニペ市及び隣接するグアノ市の住民を対象にしており、来診する一か月平均患者数は、約500名である。同病院は手術室及び分娩室にて医療サービスを提供していたが1999年のトゥングラウア火山の噴火の際、火山灰によって木造の建物が被害を受け、中断せざるを得なかった。それ以来、設備の改装を行い、2012年5月に手術室の建設工事が完了したが、以前使用していた麻酔器、手術用ランプ、電動手術台、電気メス、高圧蒸気滅菌器、4000cc吸引器、小児用吸引器及び外科用携帯ランプは、老朽化が激しく、使用不可能であるため、バスで片道40分近く要するリオバンバ市の病院まで通う必要がある。

本計画は、同病院において、老朽化が激しい医療機材の刷新及び新規手術室用の医療機材を整備することにより、第一次医療サービスの質を向上し、地域住民の医療環境の改善に貢献しようとするものです。

計画実施前



署名式

